【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和7年1月22日(2025.1.22)

【国際公開番号】WO2024/171306
【出願番号】特願2023-537410(P2023-537410)
【国際特許分類】
G06Q 50/10(2012.01)
【FI】
G06Q 50/10

【手続補正書】
【提出日】令和5年6月19日(2023.6.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ユーザの３Ｄモデルの時系列変化を取得する第１取得手段と、
前記ユーザの行動分析又はメンタル分析の分析結果を取得する第２取得手段と、
前記時系列変化及び／又は前記分析結果を用いて、複数の連携サービスに含まれる複数のメニューのうち当該ユーザに適するメニューを選択する選択手段と、
前記選択されたメニューを前記ユーザに提示する提示手段と、
前記ユーザの前記行動分析又はメンタル分析を行う分析手段と
を有し、
前記分析手段は、前記ユーザが前記３Ｄモデルを用いて仮想空間において行った行動履歴を用いて前記行動分析又は前記メンタル分析を行い、
前記第２取得手段は、前記分析手段から前記行動分析又はメンタル分析の分析結果を取得する
情報処理システム。
【請求項２】
前記メニューの提示を受けた前記ユーザが前記複数の連携サービスのいずれかを実際に利用した実績に応じて、当該ユーザに賞罰を付与する賞罰付与手段
を有する請求項１に記載の情報処理システム。
【請求項３】
前記連携サービスにおいて前記賞罰を利用する利用手段
を有する請求項２に記載の情報処理システム。
【請求項４】
前記賞罰付与手段が、前記利用手段を介して行われた利用に対して前記賞罰を付与する
請求項３に記載の情報処理システム。
【請求項５】
前記賞罰付与手段が、前記複数の連携サービスのうち前記時系列変化及び／又は前記分析結果に応じて選択された連携サービスにおける賞罰を付与する
請求項２に記載の情報処理システム。
【請求項６】
前記賞罰付与手段が、前記複数の連携サービスの各々に対して、独自に設定されたアルゴリズムを用いて前記賞罰を付与する
請求項５に記載の情報処理システム。

【請求項７】
前記分析手段は、前記ユーザが現実空間において行った行動履歴を用いて前記行動分析又は前記メンタル分析を行う
請求項１に記載の情報処理システム。
【請求項８】
前記分析手段は、前記ユーザと同一の連携サービスを利用する他のユーザとの関係を用いて前記行動分析又は前記メンタル分析を行う
請求項１に記載の情報処理システム。
【請求項９】
前記分析手段は、前記ユーザとは別のユーザから当該ユーザに対する評価を用いて前記行動分析又は前記メンタル分析を行う
請求項１に記載の情報処理システム。
【請求項１０】
前記連携サービスが複数の種類に区分され、
前記選択手段は、前記複数の種類のうち前記時系列変化及び／又は前記分析結果に応じて選択された種類の連携サービスに含まれるメニューを前記ユーザに適するメニューとして選択する
請求項１に記載の情報処理システム。
【請求項１１】
コンピュータが、
ユーザの３Ｄモデルの時系列変化を取得するステップと、
前記ユーザの行動分析又はメンタル分析の分析結果を取得するステップと、
前記時系列変化及び／又は前記分析結果を用いて、複数の連携サービスに含まれる複数のメニューのうち当該ユーザに適するメニューを選択するステップと、
前記選択されたメニューを前記ユーザに提示するステップと、
前記ユーザの行動分析又はメンタル分析を行うステップと
を有し、
前記行動分析又はメンタル分析を行うステップにおいて、前記ユーザが前記３Ｄモデルを用いて仮想空間において行った行動履歴を用いて前記行動分析又はメンタル分析が行われ、
前記分析結果を取得するステップにおいて、前記行動分析又はメンタル分析を行うステップにおいて行われた前記行動分析又はメンタル分析の分析結果が取得される
情報処理方法。